

150周年記念事業 連携イベント

本年、(社)日本鉄鋼連盟が実施している近代製鉄発祥150周年記念事業のイベントが

■ 室蘭の“鉄文化”と“ものづくり”を実感する3カ年イベントを開催

9月23～26日、室蘭市において「鉄文化・ものづくりフォーラム」が開催された。これは近代製鉄発祥150周年記念事業の連携イベントであり、2007年に(株)日本製鋼所室蘭製作所が100周年、2009年に新日鉄室蘭製鉄所が100周年を迎えることから、2007年から2009年の3カ年事業として、新日鉄、日本製鋼所、室蘭工業大学で構成する記念事業実行委員会が実施している。

23日には、日本製鋼所室蘭製作所と新日鉄室蘭製鉄所の工場見学会が行われ、大勢の方々が地域に密着した企業のものづくりの現場を見学した(写真1)。

26日に行われたフォーラムでは、新日鉄室蘭製鉄所長の升光法行の開会の言葉に続いて、室蘭市長の新宮正志氏が「室蘭に日本製鋼所、新日鉄室蘭製鉄所という大企業が操業を開始して100年が経過。工業出荷額で室蘭市は全道第1位になったが、各企業の努力の賜物だ。室蘭のものづくりの土壌をさらに高め、街を進化させていくことができるよう市も支援していく」と挨拶した。

記念講演では、牡蠣の森を慕う会代表で京都大学フィールド科学教育研究センター社会連携教授の島山重篤氏が、「鉄が地球温暖化を防ぐ」との演題で、約150人の聴衆の前に、「海の生物が育つには『鉄分』が重要。川の水が流れ込む海域(=汽水域)では魚が豊富にとれるが、これは森の腐葉土と鉄が反応してできたフルボ酸鉄が河川を經由して海に流れ込むからだ。フルボ酸鉄があると植物プランクトンが増えて、魚も増える。『鉄』は森・川・海をつなぐキーワードだ。鉄が豊富な海では海藻がよく育ち、結果としてCO₂の固定化にも役立つ。室蘭には海があり、鉄の町でもある。ここ室蘭から世界の環境問題に発信してその名を高めてほしい」と講演した(写真2)。

続いて室蘭工業大学名誉教授の片山博氏が、北海道、



写真1 室蘭製鉄所 工場見学会の様子



写真2 島山重篤氏の講演



写真3 ミュージカルに出演した北海道登別明日中等教育学校の生徒さんたち

特に室蘭における製鉄の歴史について講演。最後に日本製鋼所取締役室蘭製作所副所長の村井悦夫氏が閉会の言葉を述べた。

講演会に続いて当日夕方にミュージカルが上演された。国内外で活躍する劇団ふるさときゃらばんが、鉄づくりを通じた異文化の交流をテーマに「雲たか山の鬼」というオリジナル作品を上演。地元の中学生在ワークショップに参加し、役者と一緒に舞台に出演するなど、楽しい公演となった(写真3)。

■ 第16回クローバー賞表彰・君津市民ふれあい祭り

8月9日、近代製鉄150周年記念 第16回クローバー賞(新日鉄君津社会貢献賞)の表彰式が、「君津地方生涯学習推進大会」(千葉県袖ヶ浦市民会館)の席上で行われた。

クローバー賞は、君津製鉄所近隣の君津、木更津、富津、袖ヶ浦の4市を、幸運を呼ぶと言われる四つ葉のクローバーになぞらえて命名し、地道な社会貢献活動を行っている4市の個人および団体を年1回、君津地方生涯学習推進大会の場で表彰しているもの。今回は4市から推薦された中から1個人5団体に対して、君津製鉄所長の黒



写真4 表彰式にて、黒木所長から受賞者へ盾を贈呈

— 室蘭、君津、北九州で開催

全国各地で行われている。今号では、室蘭、君津、北九州で開催されたイベントを紹介する。

木啓介から記念の盾と活動支援金を贈呈した(写真4)。

受賞者を代表して、「がうらエコネット」の影山隆男さんが「近代製鉄発祥150周年という節目の年に、このような表彰をいただき身に余る光栄です。これからも地域

社会のために尽力していきたいと思います」と述べた。

また、8月2、3日、君津市と君津製鉄所共催の第13回君津市民ふれあい祭りが開催され、君津製鉄所は150周年記念事業の記念品(タオル)を先着3,000名に配布した。

■ 迫力ある企画で「鉄」のイノベーションを感じる — 北九州イノベーションギャラリー —

2007年4月、福岡県北九州市の八幡東田地区に「イノベーションをテーマとする国内唯一の施設」として開館した北九州イノベーションギャラリー(以下KIGS)では、現在、企画展「鉄が拓いた技術 時代のニーズを先取りした『鉄』のイノベーション」を開催している(9月27日~12月7日)。展示室に約13分の1スケールで製鉄プロセスを再現し、近代製鉄を進化させてきたさまざまな技術を、図や写真を交えて紹介(写真5)。子ども向けに鉄を身近に感じてもらえるように「鉄のあそび」体験コーナーも設けた。

今後もKIGSでは企画展に合わせて講演などさまざまなイベントを予定している。



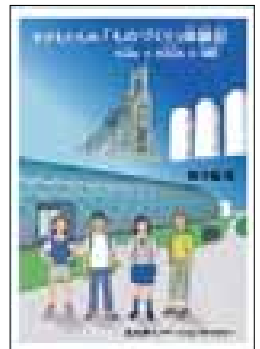
写真5 製鉄プロセスの模型

KIGS お問い合わせ先: TEL 093-663-5411

URL <http://www.kigs.jp>

子どもたちの 『ものづくり』体験記 Kids + KIGS = ∞

KIGSでは、より多くの子どもたちに「ものづくりの楽しさ、喜び」を感じ取ってもらうため、近代製鉄発祥150周年記念事業の一環として「子どもたちの『ものづくり』体験記 Kids + KIGS = ∞」を制作・発行した。鉄の性質、身近な鉄製品、製鉄プロセスのほかに、ものづくりを楽しむためにKIGSの工房で体験できることなどを、親しみやすい漫画で紹介している。



● お申し込みは TEL 093-663-5411 (KIGS 担当: 青井)

近代製鉄発祥 150周年記念切手を発行

2008年12月1日、大島 高任おおしま たかとうが日本で初めて洋式高炉の初出銑に成功した「鉄の記念日」に、日本郵政(株)より150周年記念切手(1シート80円郵便切手×10枚)が発行されます。

切手デザインは、① 高炉 ② AIRA(アイラ)(150周年記念事業オリジナルキャラクター、広

報大使・石井竜也氏デザイン) ③「鐵」の書(少年書家・高橋卓也君制作)から構成されています。

詳細については下記の日本郵政HPをご確認ください。

日本郵政(株) URL <http://www.japanpost.jp/>

